

淀川混声合唱団

第32回演奏会

PROGRAM

Cloudburst Octavio Paz 作詩 Eric Whitacre 作曲

パーカッション：樽井 美咲 ピアノ：天本 麻理絵

無伴奏混声合唱曲集

Ten songs —世界のエレメント— みなづきみのり 作詩 山下祐加 作曲

1. 時の音 2. 樹の音 3. 地の音 4. 波の音 5. 空の音
6. 火の音 7. 星の音 8. 風の音 9. 夢の音 10. 生命の音～歌声

————— Intermission —————

混声合唱組曲

終わりのない歌 銀色夏生 作詩 上田真樹 作曲

1. 光よ そして緑 2. 月の夜 3. 強い感情が僕を襲った
4. 終わりのない歌 5. 君のそばで会おう

ピアノ：天本 麻理絵

————— Intermission —————

合唱のためのディスカバー・ニッポン<第一集>

東海道四谷怪談 鶴屋南北 詞 千原英喜 曲

1. 江戸子守唄 2. 百万遍

パーカッション：樽井 美咲

指揮：伊東 恵司

2021年9月5日
住友生命いづみホール

NOTE

1st Stage Cloudburst

Eric Whitacre が、実際に遭遇した豪雨にインスピレーションを受け作曲。雲が爆発して溢れ落ちたような豪雨が、美しくエネルギーに表現されている。詩は Octavio Paz の El cántaro roto からの抜粋。作詩者は詩表現についてこう語る。「詩的表現は言葉で限定することはできないが、それにもかかわらず、言葉のみが詩的体験を表現する。」曲名とは無関係な内容の詩が、作曲者の手を借りてこのように生き生きと豪雨を表現するのは、作詩者が、音や韻に対する鋭い感性によって表現した「言葉で表せない」感覚が、作曲者が豪雨に抱いた感動と共鳴したからであろう。そこに共通するエネルギーを今日は我々が、言葉に乗せ、音に乗せ、共有できたら幸いである。

小野 緒芽

2nd Stage Ten songs ー世界のエレメントー

2019 年に合唱団ういろう第 10 回演奏会開催に際し 10 編の詩からなる全 10 曲の曲集として『Ten songs ー世界のエレメントー』は誕生しました。要素（エレメント）という小さい単位を表現するに相応しいシンプルなア・カペラで作曲されています。時の音・樹の音・地の音…それぞれの要素はどのような音が鳴るのか、違いを楽しみながらお聴きいただければ幸いです。10 番目の曲は「生命（いのち）の音 ー歌声ー」です。よどこんを構成するのに欠かせない要素、生命・歌声。簡単に声を合わせることができなくなった今だからこそ表現、感じることのできる音になるでしょう。

柴田 絵梨

3rd Stage 終わりのない歌

I. 光よ、そして緑

迷い、踏み出せない「僕」と、光のごとく真っ直ぐに進み続ける「あなた」。僕の思いは、憧れからやがて恋に変わってゆく。

II. 月の夜

月の下、「僕」と「あなた」の心が穏やかに照らされる。息を止めて時の流れに抗おうとしている「僕」の姿が映し出される。

III. 強い感情が僕を襲った

優しい恋のひとときと決別するように、「僕」の心は葛藤や絶望に苛まれる。混沌とした感情の砂嵐が行き着く先は、呆然とした「僕」の心の風景。

IV. 終わりのない歌

過去に取り残された「僕」は、その中でも「あなた」のように真っ直ぐ未来に進んでいくことを願う。失ったものを取り戻そうとする熱情、理性を振り払った青年の叫びが歌われる。

V. 君のそばで会おう

流れゆく時間の中で、この恋を終わらせないと断言する力を手に入れた「僕」。二度とこの恋が叶うことはないとしても、それでもいつか「僕」はまた、「君」のそばで会えることを信じている。

藤原 典明

4th Stage 東海道四谷怪談

科学、医学が未発達であった時代、日本では目に見えない“モノ”に取り憑かれることによって心や身体の不調が生じるという考え方方が深く広く浸透していた。もののけ、あやかし、悪鬼、幽霊…これら見えざる“モノ”を畏怖することは現代から見ると不合理にも思えるが、現代人も細菌やウィルス、ストレスや気圧など普通なら目に見えないものに悩まされているわけで、往古の人々はむしろ核心に迫っていたと言えるかもしれない。

そして、“モノ”に憑かれた人々や憑かれてくない人々はしばしば「まつる」ことで“モノ”を祓い清め、鎮めようとした。「まつり」の場で人々が歌い、祈り、踊り、囁きことで、見えざる恐怖の存在を抑え込み、在るべきところへ追い返そうとしたのである。

本曲『東海道四谷怪談』も見えざる“モノ”たちと歌や祈りとのせめぎ合いが柱となっている。昨今我々を悩ませている新しく禍々しき“モノ”を退散させんとの気迫を持って演奏に臨みたい。

村田 和寛

PROFILE

指揮者 伊東 恵司

児童・混声・女声・男声…あらゆる形式・ジャンルの合唱指導を行い、全日本合唱コンクール・宝塚国際室内合唱コンクール等でグランプリ、金賞、特別賞を多数受賞。現在、全国各地で審査員や合唱指導を引き受けるほか「アルティ声楽アンサンブル」「コーラスめっせ」等の新規の合唱フェスティバルの企画や主催を行っている。現在、日本合唱指揮者協会理事（関西支部代表）。カワイ出版より「スチューデントソングブック(1・2)」「合唱エクササイズ(育成編・運営編・日本語編)」他、プレーン株式会社より「合唱のイントロダクション」を上梓。「みなづきみのり」のペンネームで作詞活動展開中。



パーカッショニスト 樽井 美咲

京都市立芸術大学管打楽専攻を首席で卒業。卒業に際し京都市長賞を受賞。同大学卒業演奏会、打楽器新人演奏会等に出演。第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選、第1回ウーヴェルチュールコンサート最優秀賞受賞。マリンバソリストとして、Osaka Shion Wind Orchestraと共に演。一般社団法人アマービレフィルハーモニー管弦楽団正団員。フリー打楽器奏者として様々な分野で活動中。



ピアニスト 天本 麻理絵

神戸市出身。兵庫県立西宮高校音楽科、東京藝術大学、同大学大学院修士課程修了。大学院在学中より渡独し、ベルリン芸術大学を最優秀の成績で卒業、同大学大学院修了。ドイツ国家演奏家資格を取得。アルトゥール・シュナーベルコンクール(独)最高位。'12年度スタンウェイ賞(独)他、国内外多数受賞。現在はソロ、室内楽など精力的に演奏活動をする傍ら、相愛大学音楽学部、相愛中学音楽科進学コース、関西保育福祉専門学校、各非常勤講師として後進の指導にもあたる。



※当初予定しておりましたピアニストの細見真理子先生は、諸般の事情により降板されることとなりました。

GREETING

本日はお忙しい中、また新型コロナの緊急事態宣言発令中にもかかわらず、私ども淀川混声合唱団第32回演奏会にご来場いただき、本当にありがとうございます。

淀川混声合唱団は、昨年初からの新型コロナ禍の中、練習場である公共施設の利用中止に伴う練習中止、ZOOMによるリモート練習、万全の対策をしたうえでの練習再開、感染拡大による再びの練習中止などの繰り返しの中、昨年9月に予定していた演奏会の開催延期を余儀なくされました。

現在も、仕事の関係や家族への感染防止の観点から活動を休止している団員が少なからずいる中で、ここ1年半で入団した多くの若い団員とともに本日の演奏会を開催することとなり、新型コロナ退散祈願の思いも込めて、千原英喜先生の「東海道四谷怪談(混声版)」の改訂版初演を含めた4ステージをお送りします。折しも、歌舞伎座では一昨日から玉三郎・仁左衛門による38年ぶりの「東海道四谷怪談」が上演されています。

ご来場の皆様には、様々な制約でご面倒をおかけしますが、どうかご容赦ください。
本日の演奏が、緊張と閉塞感のある日常生活を忘れるひとときとなれば幸いです。

団長 林 和之

静寂・そして歌声

常套句を排除したら何が残るのだろうと考えると、季節の輪郭だけが仄かに残る。

気が付けばいつものように九月だ。老舗の甘味処の「琥珀流し」はソーダ付きの生姜シロップから葡萄に変わっている。夏から秋へ。流れる雲は姿を変えている。満ち欠けを続ける月は地上のコロナ禍のことなど何も知らないんだろう。色づく花梨の木は、右往左往する人のことを気遣ってはいても、夜ごとに膨らむ実の重みに満足して眠る。

一つの季節が終わり、その余韻の中で時は静かに発酵する。

合唱を取り巻く常套句は続く。

しかし、今日私たちは歌を歌っている。

何が大切かがはっきりしてきたからだ。

私たちが歌を歌ったなら、木々は揺れそよぎ、旅人は歩き始める。次の季節に向かって。

それが地球の脈動だと私たちは気づき始めている。

指揮者 伊東 恵司

MEMBERS

<u>Soprano</u>	芦田 聖子 喜山 真由美 藤田 美紀	阿部 悠 小林 瑞季 寶田 香月	榎本 弘子 柴田 純梨 山本 きよら	小野 紗矢香 日比野 萌 吉柄 佑香	小野 緒芽 藤島 和音 和田 花	加賀谷 神奈 藤田 紗世
<u>Alto</u>	青木 萌 浜田 瑞葵	上田 公子 林 恭子	春日井 貴蘭	小松 かおり	高田 めぐみ	千葉 彩乃
<u>Tenor</u>	相川 大知 中島 大典	池田 直登 福間 亮太	沖 正樹 藤原 典明	北川 昇 寶田 侑也	寺川 陶次朗 森川 拓馬	寺嶋 理裕 山畠 智範
<u>Bass</u>	奥田 清明 中村 慶言 ボイストレーナー：宮尾 和真	木下 匠 林 和之	釘田 文陽 村田 和寛	小松 史弥 横山 康平	白井 亨 吉田 昇太郎	立川 横吾 吉村 英敏

よどこん 新八団員募集中！

「想像力と仲間」を合言葉に、日々新しいレパートリーの開拓をしています。
練習見学も受け付けております。ホームページから気軽にお申し込みください！



【よどこんってこんな団】

指揮者：伊東恵司（いとうけいし）

練習日：日曜日 13:00～17:00（基本）

練習場：大阪市内の公民館等

団費：2,000円/月（一般）1,500円/月（学生）

《主な年間活動》

演奏会、コンクール、大阪コーラス MICE ほか

《お問い合わせ》

メール：yodokon_since1985@yodokon.jp

電話：075-781-0640 林（団長）

ホームページ：<https://sites.google.com/site/yodokon/>

ツイッター：@yodokon